酒田・飽海米づくり情報

第１号

育苗準備編

令和６年３月６日発行

酒田農業技術普及課
酒田市若浜町１－40
TEL0234-22-6521
FAX0234-22-6522

25日程度の育苗で、2葉前半の健苗を目指そう！

早すぎる播種・遅い田植えは「老化苗」につながります！
浸種時の水温、浸種期間に注意して「出芽不良」を防止！

気象変動に負けない稲作を実践するために、**「根張りの良い健苗」**の育成が必要不可欠です。各作業のポイントを確認するとともに、無理のない作業計画を立てて落ち着いたスタートを切りましょう。

育苗日数は 25 日程度を基本

1 作業日程の目安

- **種子消毒**　3 月 29 日（金）～ 3 月 30 日（土）
- **浸種・催芽**　3 月 30 日（土）～ 4 月 12 日（金）
- **播種**　4 月 13 日（土）～20 日（土）
- **田植え**　5 月 8 日（水）～15 日（水）

田植日から逆算！

2 塩水選

決められた比重（うるち 1.13、もち 1.08）で実施後、水洗いし、水切りします。

引き続き温湯消毒を行う場合は、塩水選後 1 時間以内に処理します。1 時間以上経過した種籾は、発芽率低下防止のため、籾水分 15%まで乾燥した後に処理します。

3 種子消毒

種子と一緒に配布のチェックリストを確認し「ばか苗病」の発生を防ぎましょう。
前年に発生したところでは、要因を分析し、再発防止に努めましょう。

【薬剤消毒】

・種子消毒薬剤の例とその使用方法は、下表のとおりです。
・薬液の温度は極端な低温にならないようにしましょう（10～15℃未満を確保）。
・薬剤処理が終わったら浸種槽に入れ、浸種を開始します。

薬剤消毒法	使用薬剤	濃度・薬量	使用方法
低濃度長時間処理法	テクリードＣフロアブル（苗立枯細菌病にも効果あり）	200 倍	24 時間種子浸漬

※庄内地域において、スポルタック剤の「ばか苗病」耐性菌が確認されています！耐性菌蔓延防止のため、使用を控えていただくようお願いします。

農薬の使用に際しては、登録の有無を確認した上で、
①適用作物、**②使用量、希釈倍数**、**③使用時期**、**④使用回数**を厳守！

【温湯消毒】　うるち品種のみ可能です。必ず前年産種子を使用しましょう。

・保温機能がある場合、58℃20 分または 60℃15 分（厳守）で温湯処理を行います。
（ただし、使用する機器の説明書等に温度や時間の記述がある場合は、それに従って使用します）
・最初に種子袋を 5 回程度上げ下げし、内部まで温湯を速やか、かつ十分に浸透させます。
・温湯処理が終わったら、浸種槽に入れ籾を十分に冷まし、そのまま浸種を開始します。
・温湯処理後、直ちに浸種作業をしない場合は、再感染防止のため、脱水後に通風乾燥し籾水分を 15%まで低下させ、再感染のリスクが少ない場所に保管します。

4 浸種 ⇒ 水温は 10～15℃未満

高温登熟した種子は休眠が深いため、本年は浸種時の水温等に例年以上に気を配る必要があります。

水温は 10～15℃未満とします。水温が上昇しやすいハウス内や日なたは避け、屋内または日陰で行いましょう。“浸種おけ”には必ず温度計を設置し、ふたで覆います。

低水温（5～6℃）での長期間の浸種は出芽揃いが悪くなります。特に浸種開始の初日はお湯を加えるなど保温の工夫をして、水温が必ず 10～15℃未満になるようにします。また、浸種温度が 15℃より高いと「ばか苗病」発生のリスクが高まります。

品種名	積算水温	浸種日数
はえぬき・ひとめぼれ・つや姫 雪若丸・ふくひびき	120°C	水温 10°Cで 12 日間 水温 12°Cで 10 日間

薬剤消毒の場合、浸種初日から 3 日間は水交換せず、その後 2～3 日おきに交換します。

5 催芽

催芽温度は 30～32℃とします（催芽温度が低いと「ばか苗病」発生リスクが高まります）。
芽切れが 1 ㎜程度（ハト胸状態）に揃っていることを確認し、播種作業に移りましょう。

6 播種

例年、播種が早すぎる、または田植えが遅いことによる老化苗が見られます。老化苗は活着が劣り、初期生育不足につながりやすいため、適切な移植日から育苗日数（25 日程度）を逆算し、播種日を設定しましょう。

	移植時の葉齢	育苗日数	乾籾重/箱	催芽籾重/箱
稚苗	2.2～2.5 葉	22～25 日	150～170g	180～200g

※「雪若丸」は千粒重が大きいため、他品種より播種の重量を１割程度多くしましょう。
事前に播種量を確認してから播種作業を行ってください。

7 土づくり

堆肥や土壌改良資材（ようりん、ケイカル等）を投入し、初期生育の確保や品質・食味・収量の安定化を図りましょう。適正な土壌 pH は 5.5～6.0 です。

徹底しよう！農業機械の安全対策